

# 支部協ぶより

第124号

発行所  
 NTT労組退職者の会  
 沖縄県支部協議会  
 沖縄県浦添市城間4-35-2  
 TEL.098-870-7101  
 FAX.098-875-7450  
 責任者  
 瀬良垣 武安

## 新年の挨拶 決意も新たに

会長 瀬良垣 武安



会員の皆様、ご家族の皆様 新年明けましておめでとうございます。

久しぶりに良い正月、良い新年を迎えることが出来る気が致します。

昨年一月十九日投票で行なわれました名護市長選挙で、辺野古への新基地建設反対の稲嶺進市長が良識ある多くの名護市民の支持、支援で再選されました。

市長選での勝利の民意を大切に十一月十六日投票で行なわれました沖縄県知事選挙、那覇市長選挙で島ぐるみのオール沖縄としての支援体制

での大きなうねりでもって、県民を裏切った現職の県知事候補にかつてない一〇万票差の大差をつけてオナガ雄志知事が当選をしました。

沖縄県民の良識ある民意を無視し辺野古への移設工事を強行する安倍暴走政権へ、沖縄県民の怒りと辺野古への新基地建設NOの意志表示が出来た。しかしそれでも辺野古への新基地建設工事は「粛々と進める」と豪語しています。

さらに安倍首相はその数日後に何の為の解散か国民がよくわからないまま、いきなり衆院を解散しました。そして十二月二日公示

で十二月十四日投票の衆院選挙が行なわれ、沖縄選挙区の一區二區三區四區に県民を裏切った自民党現職四名が一區四區で辺野古への移設建設容認で立候補し、先に行なわれた県知事選挙で圧勝したオール沖縄の誇りある民主的民意に挑戦するかのようになり、安倍自民党から公認候補として立候補してきました。

急な解散で取り組みも短期決戦を余儀なくされましたが、県知事選挙で示したオール沖縄うまみちの支持支援体制を継続する選挙戦となりました。すでに結果につきま

しては会員の皆様もご承知の通り、一區で赤嶺政賢さん、二區照屋寛徳さん、三區玉城デニーさん、四區仲里利信さんが、一區四區の自民党候補者

全員に再び沖縄県民の力強い辺野古新基地建設反対の民意で、大義なき解散と評されながらも全国的に多くの議席を得て得意になつている安倍自民党に対し、沖縄選挙区全

てで惨敗した事実と結果は重く受け止めなければならぬ。しかし安倍政権はそれでもなおかつ辺野古移設工事を強行すると明言しています。

さらに県民が注視しなければならぬこととして、沖縄選挙区で惨敗した自民党候補者が比例で

全員復活当選したことで、安倍政権と共に辺野古移設反対の県民的民意を無視して、移設工場の強行を一緒になつて押し付けてくる可能性が多分に予想されることから、県民の辺野古移設建設反対の民意でもって十分に注視していかなければなりません。

今後は翁長県知事を先頭にオール沖縄の英知を集めて対応していく必要があると思います。まさにこれから大きな正念場を迎えることとなります。

これまでの沖縄県知事選挙、衆院選挙をはじめその他の市町村選挙におきまして、会員の皆様、ご家族の皆様、多くの方々のご支持ご支援のおかげで見事な選挙結果を出していただきまして深く感謝を申

し上げます。

私達高齢者を取りまく社会保障制度の低下、国民健康保険、介護保険料、後期高齢者医療保険料の増加などきびしい状況下で、生活者重視の政策実現や年金、医療、介護などの社会保障制度の充実に向けて現退一致で取り組んでいくこととします。退職者の会の大きな目標は会員相互の親睦を図り、ゆとり、豊かさ、社会的公平を求め実現することです。

サークル活動の充実拡大や会員の親睦、コミュニケーションの充実策の活性化が拡大出来るよう地区協の拡大も検討する必要があります。今年も会員皆様方ご家族の皆様におかれましては、お体に良い生活習慣を心がけて健康長寿を旨とし頑張ってください。

会員の皆様、ご家族皆様のご健康とご多幸を祈念申し上げ新年のごあいさつと致します。



那覇市内の福州園 撮影：露本 光弘





# 新年のごあいさつ



N.T.T.労組九州総支部沖縄分会  
分会長 砂川 安弘

退職者の会会員の皆さん、ご家族の皆さん、あけましておめでとございます。

昨年、選挙に明け暮れた一年でありました。

稲嶺市長再戦を勝ち取った名護市長選挙、北谷町議会議員選挙では、重点候補の「友利勉」さんが見事初当選、辺野古新基地建設を最大の争点とした県知事選挙においては、「翁長雄志」新知事を誕生させました。

また、大義なき解散と言われ準備体制もままならない状況で戦った衆議院選挙においては、支持・支援候補の全員当選など、退職者の会の皆様のおかげで大きな成果を果たすことができました。全ての選挙に共通することは、普天間の県内移設ノードあり、これ以上の基地負担を拒否するとの、民意ではなかったでしょうか？

政治家はブレても、県民はブレ無かった事が証明されました。

一方で、国政においては、自民党一強体制が更に強固となりました。憲法改正に必要な国会議員の3分の2を確保した自・公政権は、戦争放棄を謳った平和憲法の改憲や、国防軍の創設など、戦争ができる国に変えてしまう危険性が出てきました。また、派遣法の改悪など、我々、働く者の犠牲のうえに成長戦略を描こうとされています。巨大与党の暴走に歯止めをかけるため民主党を含めた野党の奮闘に期待したいと思えます。

今年の干支の羊（ヒージャー）は、自分の背後まで見ることができ、非常に広い視野を持つ動物であり、群れをなす生態は、家族安泰を示すことまでも平和に暮らすことを意味していると言わ

れています。

羊のように広い視野で物事を判断し、いろんな意見を持ち寄り、決め合った事は一致団結（群れ）して取り組んでまいります。引き続き、退職者の

会の先輩方と「現・退一致」の運動を展開してまいります。

今年も、先輩方・ご家族の皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、念頭のご挨拶とさせていただきます。

## 沖縄が試される年

### 「オール沖縄」でガンバロウ！



情報労連組織内重点議員  
北谷町議会議員 友利 勉

退職者の会の先輩の皆様、あけましておめでとございます。

昨年（二〇一四年）は、選挙に明け暮れた半年でありました。

県内では、一月の名護市長選、九月の各市町村議選、十一月の県知事選、十二月の衆議院選挙など、建白書を実現する「オール沖縄」対自公政権との戦いでありました。

また、沖縄の将来を決める県知事選においては、「オナガ雄志」新知事が十萬票差で誕生し、衆議院選では、沖縄全選挙区

において、建白書勢力が勝利したことは「オール沖縄」の力強い結束力、沖縄県民の思い、誇りと尊厳を国内のみならず国際社会に示す事が出来ました。

しかしながら、全国的には自公政権の過半数維持を許し、強権的な安倍政権が継続して辺野古新基地建設を推進するとしています。

新しい年は、まさに沖縄が試される年になります。ところで、私も一大決断をして九月の北谷町議選に出馬し、退職者の会の先輩方や地域の皆様、情報労連の多くの仲間を支えられ、超短期決戦に

も関わらず初当選を果たすことが出来ました。

政治の道に一步踏み入れた今、政治家として地域住民の声を大切に住民目線で地域の発展、沖縄県発展のため初心を忘れず粉骨砕身、頑張る覚悟です。

今後、退職者の会の先輩方の変わらぬご指導ご鞭撻をよろしく願いお申し上げます。

結びに、輝かしい新年を迎え、皆様とご家族のご多幸を心からお祈り申し上げます。

会員名簿に記載漏れがありました。該当会員の方と全会員の皆様にお詫びを申し上げます。下記の3人について、追加記載してください。  
◎片桐 政賢 (49.01生) 903-0803、那覇市首里石嶺町2-166-13、887-5604  
◎西原 良逸 (49.12生) 905-0021、名護市東江1-19-6-302、090-3271-0757 長期不明者から連絡がありました。  
◎平良 恵貴 (46.04生) 906-0013、宮古島市平良字下里1009-1馬場団地13-106  
\*新会員を紹介します。具志堅 秀信さん(豊見城市)

### お詫び・追加記載

### 核兵器廃絶を求める署名について(再度)

核兵器廃絶を求める署名は、12月18日現在、署名提出会員145名で、集まった署名数は、628人分です。

会員一人当たり、4.3人の集約で、頑張っている様子がうかがえ感謝いたします。

全国的な署名締め切りは、1月末です。沖縄県支部協では1月27日を締め切りとします。未提出の会員は、署名簿を5人埋めるよう努力して頂いて、早急に、同封されています「返信用封筒」に入れて投函してください。

核兵器廃絶に向けた取り組みを国際的に、国連の場で行います。

1000万もの署名を集める取り組みです。住所の記入は、市町村名からで良いです。(沖縄県は省略してください)

住所は、「同上」、「〃」の記入はせず、きちんと市町村名から書いてください。

◎料金受取人払いの封筒を同封しています。切手は不要です。(事務局長 長嶺)

「会員の訃報について」  
謹んでご報告し、故人のご冥福をお祈りします。  
宮良信宗 (2013.5.29死亡) 満82歳、石垣市在